

(二)

実業教育ニ関シ別紙ノ通知事ヨリ訓示ノ処本郡ニ於テハ殆ント各町村共実業補習学校設置ノ予備トシ青年夜学会ノ開催ヲ見ルニ至ルヲ以テ近キ将来ニ於テ該学校ノ教興スルヤ明カナリ故ニ今茲ニ之ヲ喋々スルノ要ナシト雖トモ此際諸君ニ於テモ奮然蹶起以テ実業補習学校設置ノ一日モ速カナラシメラレンコトヲ望ム

(別紙)

実業補習学校設置ニ関スル件

時勢ノ趨向ヲ察シ我邦ノ将来ヲ慮ルニ実業ノ発達ヲ期シ富力ノ増進ヲ図ルハ最モ刻下ノ急務ナルヲ信ス而シテ実業ノ基礎ハ教育ニ在リ殊ニ将来農工商等実業ニ従事シ自ラ勞務ヲ執ラントスル小学卒業ノ児童ニ対シ之ニ要スル智識技能ヲ普及スルハ甚須要ニシテ其効果頗ル大ナルモノアラン乃チ県内普ク是等ノ児童ヲシテ就テ学ハシムヘキ簡易ナル実業教育機関ノ経営ヲ為スノ要アリ

又一方ニ於テ県下小学児童卒業ノ後其家ニ在リテ実業ニ従フ者ヲ觀ルニ概ネ復学ヲ修メス年長スルニ從ヒ嘗テ学ヒ得タルモノモ漸ク忘却シ無学ノ輩ト敢テ扱フナキニ至ル者多ク且児童小学ヲ卒テ成年ニ達セサルノ間ハ性情未タ定マラサルカ故ニ動モスレハ社会ノ誘惑ニ遇ヒテ邪路ニ陥ル者亦尠カラズ蓋シ小学教育ノ効果ヲ永遠ニ全カラ

シメントセハ其卒業後ニ在リテモ尚記憶ヲ確実ニシ学力ヲ進ムルノ機会ヲ与ヘ勤学ノ慣習ヲ失ハサルシムル為メニ補習教育ヲ施スノ必要アリ況ンヤ現時義務教育ノ程度高カラサルヲ以テ之カ補習増進ノ途ヲ講スルノ洵ニ已ムヲ得サルモノアルニ於テヲヤ

実業補習学校設置ノ普及ハ前述ノ要求ヲ充スニ適スルモノト云フヘシ実業補習学校ハ各種ノ実業ニ従事シ若ハ従事セントスル者ニ簡易ナル方法ニ依リ其職業ニ要スル智識技能ヲ授ケ併テ小学校教育ノ補習ヲナスヲ目的トスル特種ノ機関ニシテ其経営ノ簡便ナル其費用ノ僅少ニシテ足ルモノ斯校ニ如クハナシ故ニ之カ設置ノ普及ヲ奨励シ一ハ以テ実業ノ発達ニ資シ一ハ以テ小学教育ノ効果ヲ永遠ナラシメ兼テ其足ラサルヲ補ヒ以テ今日ノ急務ニ応セントス

諸君宜シク実業学校及実業補習学校規程ノ精神ニ基キ簡易ヲ主トシ適切ヲ旨トシ其設置ヲ普及セシムルニ努メラレンコトヲ望ム

(町村長会共議案綴)〔明治二八―四一年〕清川村役場藏)

(注) 郡長会は明治三十八年九月下旬に開催されたものと思われる。

三三 平和条約調印の件通牒

中庶第三七六八号

政府ハ曩ニ米国大統領ノ忠言ニ基キ全権委員ヲ簡派セラレ我委員ハ

数次露国委員ト会商スル所アリ政府ハ将来ニ於ケル我国ノ發展ニ鑑ミ繼戰ノ利害ヲ較量セラレタル結果客月五日ヲ以テ平和条約ノ調印ヲ了ルニ至レリ平和確立ヲ見ルノ日蓋シ遠キニアラサルベキヲ信ス抑モ今回ノ交戰二十ヶ月ニ涉リタルニ拘ハラス外征ノ師ハ連戰連捷ノ功ヲ奏シ国民ハ銳意其常業ヲ勉メ国本ノ培養ニ戰費ノ供給ニ毫モ倦怠ノ跡ナク挙国一致 聖旨ヲ奉シテ交戰ノ事ニ從ヒタリ是レ実ニ陛下ノ御威稜ト国民ノ忠誠トニ因ルト雖トモ町村長タルモノ能ク聖旨ヲ体シ励精職ニ當リ直接扶掖誘導ノ任ヲ尽セルモノ亦与リテ力アルヲ疑ハス而シテ平和確立ノ日將サニ近キニアラントスルノ今日ニ於テ將來ノ計ヲ為スハ実ニ当面ノ急務ナルベシ夫レ挙国一致ハ戰時ニ於テ已ニ右ノ如キ好果ヲ生シタリ戰後ノ施治モ亦之レヲ以テ基礎トナサ、ルベカラス国力ノ發展ハ今後挙国一致益々全力ヲ注カサルベカサル所ニシテ又蓋シ穩健ノ思想ト進取ノ氣象ニ富メル我国民ノ須臾モ忽セニセサル所ナリ然レトモ其ノ之レヲ善導シ扶掖スルノ任ニ至テハ実ニ町村長ニ待ツ所ノモノ勸シトセス東洋ニ於ケル我帝國ノ地位ヲ確立セル名誉アル交戰ノ結果ハ更ラニ光輝アル国運ノ發達ヲシテ之レニ伴ハシメサルベカラス故ニ克ク此主旨ヲ服膺シテ其職責ヲ全フセラレントトハ本官ノ希望スル所ニ有之候此段及通牒候也

明治三十八年十月三日

中郡長 白根 鼎三(印)

大磯町長 宮代新太郎殿

〔日露事変書類〕(明治三十七—三十九年) 大磯町役場蔵

(注) この通牒の内容は、郡長会における知事の演達要領にすでに現われている。

二三 工業所有權保護協會設立の件通牒

中庶第三七七八号

近來我國運隆興シ世界強國ノ列ニ加フルニ至レリ然ルニ今日列強ト相對シ優勝ノ地位ヲ占メンニハ挙国一致平和ノ備ヲ鞏固ニシ国力ノ充實ニ尽瘁セサルベカラス從テ我國民ハ極力産業ノ發展ニ從事シ平和ノ競走ニ打勝ツノ実力ヲ養成スルコトニ勉ムルハ勿論ノ義ニシテ其發展ニ関シテハ之レカ基礎タル發明意匠商標等ノ保護奨励ハ最モ緊要ノ事項ニ屬スルヲ以テ發明者考案者商工業者ノ為ニ其保護奨励ノ方法ヲ講シ産業ノ發展国力ノ充實ヲ期スル為メ今般同志相謀リ工業所有權保護協會(附子)ヲ設立シタル趣ヲ以テ同會會長清浦男爵ヨリ産業者ニ入會勸誘方申越候条夫々勸誘方取斗相成候様致度尤モ該設立趣旨書ハ当庁ニ就キ閱覽候様取斗ハルベク此段及通牒候也

明治三十八年十月四日

中郡役所 (印)

大磯町役場御中

(「日露事変書類」(明治三七―三九年) 大磯町役場蔵)

二四 内債募集にさいし留意すべき措置の件通達

中庶第九八八号

拜啓陳者内債募集ノ件ニ関シ過般会同ヲ煩ハシ御協議致候次第モ有之目下夫々御尽力中トハ存候へ共

帝室及日本銀行其他主要ナル銀行ノ応募内定額ハ総計一億二千七百四拾六万田尚第四回及第五回国庫債券ノ海外ニ流出セルモノ約一億三千万円ノ趣ニテ其所有者ハ新内債ニ乗替ヘントスル向モ不尠見込トノ情報我政府ニ達シ候由又今般政府ハ鐵道国有法案ヲ帝國議會ニ提出セラレ候処一時ニ巨額ノ公債發行セラレ其価格ニ影響ヲ及ホスベシトノ説ヲ為スモノアルモ法案ニ明記セラル、如ク買上ハ今後五ヶ年間ニ漸次之ヲ実行シ代償トシテ發行スル公債ハ買収ノ日ヨリ二ヶ年以内ニ時宜ニ応シ株券ト引代ニ發行交付セラル、趣ニ候ヘハ一般經濟ニ不良ノ結果ヲ来スカキコトハ有之間敷尙我政府ニ於テハ諸公債ハ鐵道収益ヲ以テ約四十ヶ年内ニ整理償還セルノ経画モ相立居候由ニ付右償還後ハ毎年五千五百万円ノ歳入ヲ増スノ計算ニシテ

財政上有利ナルノミナラス鐵道国有ノ実行ニ依リ内地經濟上ノ發達ヲ促スコト多大ナルベシト存候ヘバ此辺御含ミノ上今回ノ募債上一般ノ誤解ナキ様機宜ノ措置ヲ取り此上共一層御尽力ヲ煩ハシ度此段得貴意候 勿々
明治三十九年三月十五日

中郡長 白根鼎三(印)

大磯町長 宮代新太郎殿

(「日露事変書類」(明治三七―三九年) 大磯町役場蔵)

二五 愛甲郡町村長会における郡長演達要項(一―二)

(一)

演達要領

地方行政ニ関スル件

日露戦役ノ後ハ我國民ノ發揮シタル技能ト精神トニ由リ欧米列強ト国情ノ疎通ヲ得以テ益帝國ノ地位ヲ高ムルニ至リタルハ各位ト共ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ然レトモ之ト共ニ我帝國ノ責任モ重大ヲ加ヘ利権ノ伸張及条約等ニ基ク帝國ノ負担ヲ遂行センニハ此際更ニ大ニ国力ノ發展ヲ計ラサルヘカラス今日ハ所謂戦後經營ヲ計画スヘキ時機ニシテ国力培養ニ関スル地方事業ノ施設若ハ各般ノ奨励ハ各位

ノ技能ト勉勵トニ俟ツモノ甚々多シ各位ハ宜シク其職責ヲ尽シ并ニ
国民ノ指導啓蒙ニ遺算ナキヲ期セラレンコトヲ望ム

近時帝國ノ国状欧米諸國ニ紹介セラル、結果外人トノ關係益多キヲ
加フルニ付テハ此際吾國民ノ是等人士ニ對スル態度ハ極メテ誠実鄭
重ニシテ且苟モ相互間ニ誤解ナキヲ務メサルヘカラス深ク各位ノ留
意ヲ望ム

戦後事務ノ劇増ニ伴ヒ益地方事務刷新ノ必要ヲ認ム依テ各位ハ法律
命令ノ許ス限リ責任ヲ以テ充分ニ地方行政ノ改良進歩ヲ図リ繁文縟
札ノ如キ一日モ之ヲ除クコトヲ忘ルヘカラスノミナラス下僚ヲ督
勵シテ行政上諸種ノ弊害ヲ除キ熱誠以テ刷新ノ実ヲ挙クルニ努メラ
レンコトヲ望ム

今秋ニ於ケル県郡會議員選挙又明年ニ於ケル衆議院議員選挙ニ對シ
テハ從來ノ方針ニ依リ最モ公平ニ最モ嚴正ニ法律規則ヲ執行シ苟モ
之ニ干渉スルカ如キ行動アルヲ許サス追テ其時期ニ際シ重テ訓示ス
ル所アルヘシト雖予メ此意ヲ体セラレンコトヲ望ム

町村税滞納防止ニ関スル件

町村税滞納防止ノ方法設定方ニ関シテハ從來屢々訓示又ハ通牒スル
所アリト雖トモ滞納額ハ年々逐フニ從ヒ累積ヲ免レサルヲ以テ現在

ニ於ケル滞納ノ額ハ實際莫大ノ巨額ニ達スルモノアリ抑町村税ノ滞
納ニシテ其弊ヲ矯正スル能ハス又之レカ整理ヲ遂クルコトヲ得サラ
ンカ町村ノ財政ハ之レカ為ニ紊乱シ諸般ノ施設ハ之レカ為ニ障碍セ
ラレ延テ種々ノ紛擾ヲ惹起シ遂ニ自治ノ發展ヲ阻害スルニ至ルハ既
往ノ事例ニ徴シ明ナリ依テ各位ハ此際納税組合若クハ徵稅区及常設
委員ヲ設置スル等其町村ノ状況ニ応シ毎町村各別ニ適當ノ方法ヲ設
ケ滞納ノ弊習ヲ矯正シ從來ノ滞納モ亦適當ノ方法ニ依リ以テ之レカ
整理ヲ遂ケ速ニ町村財務ノ面目ヲ一新シ各町村一齊ニ整善ノ実ヲ挙
クルニ努力セラレンコトヲ望ム

殖産ニ関スル件

殖産興業ニ對スル針路ハ更ニ變更スル所ナシ各種ノ法令ニ遵ヒ尚益
改良發達ヲ促進スルノ方策ヲ講スヘシ就中特ニ留意スヘキ事項ニ関
シ告ケントスルモノ左ノ如シ

- 一 耕地整理ハ施行以來已ニ五六ノ星霜ヲ經本事業ハ非常ニ利益ヲ
増進スル所以ニシテ且其施設及費用ニ對シテハ補助ヲ与フルノ途
備ハレリニ拘ハラス一般農民ハ旧慣古習ヲ墨守シ又ハ水利ノ關係
上苟息ヲ事トシ躊躇逡巡ノ傾向ヲ脱セスシテ常ニ遅々ノ状態ニ在
リ未タ著シキ進捗ヲ見ルニ至ラサルハ太々遺憾ニ堪サル所ナリ今

后大ニ力ヲ整理発起ノ誘導奨励ニ注カサルヘカラス

一 生糸ハ我農産物中重要ナルモノニシテ之レカ輸出額ハ一億一千六百万円ニ上リ近來春蚕ハ勿論夏秋蚕ノ飼育大ニ流行シ随テ桑葉欠乏シテ斯業ヲ阻害セントスルノ恐アリ政府ハ已ニ桑園奨励ニ付キ新タニ方策ヲ講シ本県ニ於テモ其旨意ヲ体シ近日奨励補助ノ方法ヲ設定セラレントス善ク当業者ヲ利導シ飼料經濟ノ調和ヲ謀ルハ当面ノ急務タリ

一 畜産良種ノ蕃殖ニ関シテモ本年度ニ於テハ新ニ奨励ノ途ヲ開キ県農事試験場ニ於テ相当ノ設備ヲ施シツ、アリ之ヨリ大ニ其普及ヲ図ラサルヘカラス

一 工業品中重要ノ地位ヲ占ムル羽二重ノ如キ生糸ノ如キ海外貿易品ノ取引ハ個々ノ力ヲ以テシテハ到底大成ノ望ナキハ更ニ弁明ヲ待タス宜シク當時者カ鞏固ナル團結ヲ以テ之ニ當ラサルヘカラス組合組織ノ奨励他ノ農業ニ対スルヨリ商工業ニ於テハ更ニ一段ノ必要ヲ感スル所以ナリ奨励ヲ要ス

一 今回森林法ノ改正ハ從來最モ荒廃ニ陥リ易キ公有林特ニ町村林ニ対シテハ施業案ヲ立ツルカ如キ厳密ナル規定ヲ設ケタル等順次改良ヲ謀リ山林ノ面目ヲ一新シ將來大ニ利益ヲ収メントスルコト立法趣旨ノ主要ナルモノナレハ此辺予メ十分ノ考慮ヲ注クヘシ其

他林道運搬路ノ制森林組合ノ規定等は皆林政振作ノ目的ニ伴フモノナルニ依リ各位宜シク之レヲ詳細ニ研究シ以テ其ノ運用ヲ完カラシメント期セラレヘシ

一 來四十五年東京ニ於テ開設ノ博覽會ハ内国勸業博覽會ト万国博覽會トヲ折衷シ時勢ニ適応シタル比較の大規模ノモノニシテ之レカ出品ハ戰勝國民ノ面目トシテ飽迄モ慎重ノ注意ヲ加ヘサルヘカラス今ヨリ徐々準備手段ヲ講スルヲ要ス

教育ニ関スル件

義務教育年限延長ノコトハ既ニ關係法令ニテ承知セラル、所ナリ此事タル教育制度上最モ重大ノ施設ニシテ本邦教育ノ沿革ヨリ見ルトキハ一新紀元ヲ為スモノト言フヲ得ベシ

蓋シ明治政府創業ノ當時ヨリ國民教育ノ年限ハ外国ノ例ニ顧ミ八ヶ年ヲ以テ常ニ理想トシタルモノ、如シ道ハ三十余年間ノ教育制度ノ變遷ヲ見ルトキハ其事蹟歴然タルモノアリ

然ルニ今日マテ義務年限ハ依然四ヶ年ニテ推シ移リ來リタルハ民力其負担ニ堪ヘズ教員不足シ且ツ四ヶ年ニテモ尚就學ノ歩合未ダ多カラズ學齡児童就學督促ノ余地少ナカラサリシタメ俄ニ制度ノ變更ニ着手シテ年限ノ延長ヲ断行シ得ザリシ等ノ事情アリシニ依ラレタル

モノト信ス

今般ノ改正令ハ已ニ各位ノ熟知セラル、所ナレハ茲ニ細目ニ渉ルノ要ヲ見ズト雖モ一ニ注意ヲ要スヘキモノアリ

改正令ハ明治四十一年四月一日ヨリ実施スルコト、アルモ児童ニ延長制度ノ実施セラルベキハ其ノ翌年即チ四十二年四月一日ヨリ始マルハ法文当然ノ結果ナレハ当今ヨリ尚ホ二ケ年ノ準備時期アルヲ以テ地方ハ急激ノ変更ヲ受クルコトナク総テ秩序ノニ経営スルコトヲ得ベシ

義務教育ノ延長ヲ実行スルニ当リ地方ノ事情ニ顧ミ不得止場合ニハ一定ノ期限内従前ノ規定ニ依ルコトヲ許サレタリ然ルニ此除外例アルガ為メ油断ヲナシ遅緩ノ態度ヲ以テ之カ実施ニ当ルコトアラバ此法令ノ精神ヲ没却スルモノナリ如此除外例ヲ設ケラレタルハ真実余義ナキ場合ヲ考ヘ遺憾ナガラ緩急ノ加減ヲ加ヘラレタルモノニシテ各位ハ可成実地ノ事情ヲ調査シ此ノ除外例アルガタメ当然ノ義務ヲ怠ラザル様子メ配慮セラルベシ中学校、高等女学校、実業学校〔夜間等ニ開ク実業補習学校ヲ除ク〕ハ小学校ノ施設ニ妨ゲナキ場合ニ於テ設置ヲ許スベキモノナレバ改正小学校令ノ実施シ難キ町村ニ於テハ是等学校ノ設置ヲ許サルベキニアラズ

又改正令ノ規定ニ依リ尋常小学ハ六ケ年ニテ修了スルコト、ナリ乃

チ従来ノ高等小学ニケ年ヲ終ユルト粗ボ同一ノ程度年限トナルガ為メ改正実施ノ曉ニハ六ケ年ノ義務教育ハ直ニ中学校ノ予備教育タル傾向ヲ生ズル虞ナシト云フベカラズ

従来高等小学ニケ年ヨリ中学校へ入学スル連絡アリテ少数ノ中学生ヲ供給スルガ為メ動モスレバ小学校ハ中学校ノ予備タル任務アルノ感ヲ起サシメ教員モ小学校ハ各階級中ノ初歩ノ教育ヲ授クルモノト心得其大多數ニハ最終ノ教育タルヲ忘却シ生徒父兄モ亦流行ニ驅ラレ漫ニ中学校ニ進ミ上級学校ニテ大成スルノ希望ヲ懐クモノ少カラザルハ従来ノ弊ナリ去レハ今後ハ尋常小学ノ卒業ハ直ニ中学校へノ連絡ヲ意味スルヲ以テ此ノ風潮ヲ一層盛ナラシムルノ虞アリ若シ果シテ杞憂ニ過ギズシテ止マバ実ニ賀ス可キノ至リナルモ是迄ノ経験ニ徴スルトキハ直ニ懸念ニ堪ヘザルヲ以テ各位ハ深ク茲ニ留意シテ尋常小学ハ飽クマデ国民教育タル独立ノ教育ニシテ殆ント上級ノ教育ニハ関係ナキモノトシテ経営セラレンコト此際殊ニ考慮ヲ煩ハス所ナリ

教育ノ成績ヲ挙ゲントセバ教員ノ待遇ヲ厚ウシ以テ教育界ニ優秀ナル人物ヲ得シコトヲ努メザルヘカラズ小学校教員ノ待遇ニツキテハ各位モ事情ノ許ス限り有形ニ無形ニ待遇ヲ厚ウスルノ途ヲ講ゼラルベシ

学校基本財産ノ設置及び其ノ増殖ニ就キテハ從來奨励シ来レル所ニシテ近年漸次良好ノ成績ヲ顕ハスニ至リタレドモ尚大ニ奨励実行ヲ努メ学林ノ如キ成ルベク長期ニ涉リタル継続ノ計画ヲ立テ他年教育費ノ大部分ハ之ヨリ生ズベキ利子及利益ヲ以テ支弁スルガ如キ遠大ノ目的ノ下ニ設置セラレンコトヲ望ム又学校ノ積立金ノ蓄積モ之ニ準シテ平素奨励実行ニ努メテ他日ノ準備ヲ為シ学校ノ改築増築等ヲ容易ナラシムルコトヲ努メラレンコトヲ望ム学校教育ノ普及及發達ト共ニ公衆ノ智徳ヲ増進セシムルハ社会教育上最モ緊要ノコト、ナス公衆ノ智徳ヲ増進セシムルノ方法種々之レアルベシト雖モ図書館ヲ設置シ公衆ノ縦覧ニ供シ以テ其ノ讀書ノ趣味ヲ促進スルハ最モ適当ナル方法ノ一タルヲ疑ハズ而シテ之カ設置ニ就キテハ少数ノ大図書館ヨリモ寧ロ多数ノ小図書館ヲ設クルヲ以テ利アリトス故ニ小学校ノ如キニアリテモ成ルベク小図書館ヲ付設シ職員生徒ノ利便ヲ図ルト共ニ公衆ノ利便ニ供センコトヲ望ム

是迄屢地方青年団体ノ組織事業等ニ関シ各位ノ調査報告ヲ徴シタリシガ之ヲ利導スルニ於テハ教育上并ニ風俗上有効ト為ルベキモノ少カラズ宜シク小学校長等ヲシテ之ガ利導ノ法ヲ講ゼシメ又ハ地方有志者ヲ勧誘スル等青年団体ノ改善ヲ図ランコトヲ期セラルベシ教育上ノ事実ヲ明瞭ニシ其統計ヲ正確ニスルハ教育施設ノ基礎ナリ

之ヲ以テ毎年学事ノ統計報告ヲ徴シ以テ施政ノ參考ニ供ス各位モ亦之ニ依リテ施設セラル、コト、信ズ然ルニ折角ノ統計モ往々正確ヲ失スルノ嫌ナキ能ハザルモノアリ今其ノ一例ヲ挙ゲレハ先般町村ニ就キ学事関係諸帳簿ヲ対照シ之ヲ調査セシメタルニ諸帳簿ノ加除訂正不正確ノ為メ其ノ實際ノ就学歩合ハ統計報告ヨリ著シク減少スルモノアリ斯クテハ統計ノ効果乏キヲ以テ宜シク諸帳簿ノ加除訂正ヲ精密ニシ統計ノ材料及調製等ニ関シテモ一層注意ヲ加ヘ以テ事実ノ表明ヲ正確ニセラレンコトヲ期スベシ

実業補習学校ハ奨励ノ結果其数多キヲ加ヘタリト而シテ将来義務教育ノ延長ニ伴ヒ補習学校入学者ノ普通学ノ素養程度高クナルベキニ付主トシテ力ヲ実業ノ教科ニ注ギ実業ノ智識ヲ与ヘ兼テ普通教育ノ補習ヲ為シ以テ実業補習学校本来ノ目的ヲ達スルハ最モ必要ナルヲ信ズ郡立補習学校ノ如キ勉メテ此方針ニ依リ効果ヲ挙ゲントス各位之ヲ了セラレタシ

兵事ニ関スル件

一 戦役軍備ノ充実ニ関シ急施ヲ要スルモノハ本年度ヨリ著手スルニ至レリ之ニ関連シテ各位ノ助力ヲ要スルモノ今后益多カルヘク殊ニ歩兵三ヶ年ノ在営ヲ二ヶ年ニ短縮スルノ結果ハ徵集人員及在

郷軍人ノ増加ヲ来シ徴兵召集服役等ニ関シ町村役場ノ事務ヲ倍従スルニ至ルヘキカ故ニ之ヲ整理ヲ期スルニハ特ニ各位ノ熱心ナル尽力ニ待タサルヲ得ス戦役中ハ当局吏員ノ奮勵ニ依リ幸ニ良好ナル効果ヲ収メタリト雖トモ戦役後事務益多端ヲ加フルニ当リ或ハ之ヲ弛緩ヲ来スナキヲ保シ難シ諸君ハ深く此点ニ留意シ敏速確實ニ此等事務ヲ処理スルコトニ努力セラレンコトヲ望ム

一 充員召集ニ関スル諸準備ノ整否ハ動員実施ニ至大ノ関係ヲ有スルコト言フ俟タサルトコロナリ今回ノ戦役中町村役場ハ此事務ニツキ多大ノ経験ヲ得タルニ不拘近來該準備不整頓ノモノ少ナカラサルハ甚遺憾トスル所ナリ之レ或ハ大戦ノ後ヲ受ケ其整理未タ完了セサルニ依ルヘシト雖トモ亦其係員中既往ノ経験ニ頼ミ自然平素ノ準備ヲ忽ニスルノ傾向ナキニアラサルヲ以テ能ク其整頓ヲ図リ有事ニ際シ支障ナカラシメンコトヲ望ム

一 徴兵処分未済ニシテ所在不明ナル者ノ搜索ニツキテハ從來屢々訓示スル所アリタリト雖トモ其効果充分ナラス兵役義務ノ均等上遺憾少ナカラス今回陸軍省訓令第一号ヲ以テ調査手段ヲ示セラレタルニ依リ本県庁ヨリ不日該調査手續ノ訓令アルヘシ然レトモ此ノ事タル当局者ニ於テ進テ搜查処分ヲ実行スルト共ニ全国各地ヲ通シ常ニ連絡ヲ保持シ相互ノ通報ヲ敏速ニスルニアラサレハ到

底実効ヲ望ミ難キ所ナルカ故ニ各位ニ於テハ訓令發布ノ上更ニ適當ノ実施方法ヲ定メ各地共同シテ之レカ実行ニ任セラレンコトヲ望ム

一 陸地測量部ニ於テ建設シタル測量標ハ明治二十九年三月神奈川県訓令第十三号ニ依リ町村長ニ於テ監守ノ責ニ任スヘキモノニシテ從來之レカ注意ヲ促シタルコト数次ニ止マラス然ルニ其異状依然増加スルノミナレハ頗ル遺憾トスル所ナリ元來測量標ハ測量業務ニ必要ナルノミナラス地方官民ニ於テ土地測量ノ基準点トシテ使用シ得ルモノナルヲ以テ確實ニ之ヲ監守セサルヘカラス各位宜シク測量標ノ効用重要ナル所以ヲ一般ニ告知シ其監守ノ確實ヲ期スルト同時ニ陸地測量部ト連繫ヲ待チ地方民ヲシテ之ヲ利用セシメラレンコトヲ望ム

町村廃合ニ関スル知事訓示ノ要領

町村ノ区画ハ成ルベク從來ノ成立ヲ保存シ濫リニ之ヲ變更セザルコト素ヨリ自治制度ノ本旨タリ然レトモ町村ハ自治ノ要樞國家機體ノ基礎ニシテ其ノ治務ノ興廢ハ実ニ百政ノ弛張ニ関ス是ヲ以テ其区域狹小實力貧弱ニシテ獨立シテ其ノ自營ノ目的ヲ達スルコト能ハサルモノニシテ尚旧來ノ区域ヲ固守スルハ是レ唯リ其ノ町村自己ノ不利

タルノミナラズ亦国家ノ公益ニ非ラザルナリ此ノ如キ小区域ノ町村ニアリテハ宜シク夙ニ自ラ進ンデ相合併シ以テ基礎ノ鞏固ヲ計ルベキノミナラズ監督官庁モ亦機ニ臨ミ指導奨励以テ之ガ啓発ニ勉ムヘキハ自治制度制定ノ要旨トスル所ナリ自治制度実施以來本県町村自治ノ発達ニ就テ見ルベキモノ太ダ尠ナキハ洵ニ所因アリト謂フベシ夫レ現時ニ於テ県下各町村ノ負担ハ既ニ輕シトナサス然ルニ今後社会ノ進運ト国運ノ振張ニ伴ヒ町村ノ負担愈益増進スベキハ自然ノ理勢ニシテ現ニ明治三十年度日清戦役ノ後ニ於テ県下ノ町村税総額三十三万二千余円ニ過ギサリシモノ十年後ノ明治三十九年度ニ於テハ其ノ二倍即チ六十二万八千余円ヲ算スルニ至ル今後教育ニ土木ニ衛生ニ勸業ニ其他時勢ノ發展ト戦后ノ經營ニ随伴スル諸般ノ治務ヲ改善セント欲スルハ町村費ノ負担今日ニ倍加スルノ日アルハ蓋シ遠キニアラザルベシ現時ノ区域ヲ以テスレバ既ニ殆ント負担ノ高処ニ達スル町村ノ資力ヲ以テ限リナキ今后ノ須要ニ応セントス亦タ難カラスヤ然ラハ即チ町村ヲ合併シ其ノ独立ヲ鞏固ニスルハ今后県下ニ於ケル民力ノ増進ト自治ノ発達ヲ計ルノ上ニ於テ最モ必要ノ時勢ニ屬スト信ス本来合併ノ目的ハ自治体ノ基礎ヲ鞏固ニシ以テ健全ナル発達ヲ遂ゲシムルニアルカ故ニ謂レナキ不服ヲ唱導シ或ハ党派若クハ一二個人私利ノ關係上団体永遠ノ利益ヲ無視シ町村合併ノ断行ニ支

障ヲ来スカ如キコトナキヲ期セラルベシ要スルニ町村合併ハ邦家百年ノ計ヲ為スノ上ニ於テ実ニ止ヲ得サルニ出ツ各位克ク奮勵之ニ從事セラレン事ヲ望ム

演達要領

(一)

衆議院議員総選挙ニ関スル件

来ル五月施行スベキ衆議院議員ノ総選挙ニ関シテハ先年ノ会議ニ於テ予メ各位ニ一応ノ訓示ヲ為シ且ツ各位ハ昨年既ニ県會議員ノ選挙ニ際シテ厳正公平ニ其選挙ヲ終ハリタルハ深く満足スル所ナリ今年ノ衆議院議員選挙ニ関シテモ從來訓示ノ趣旨ヲ体シ政党政派ノ何タルヲ問ハズ最モ公平ニ最モ厳正ニ法律規則ヲ勵行スベシ殊ニ近年各地方種々ノ弊害ヲ生シ金錢ニ依リテ当選ヲ図ルガ如キ陋劣ナル手段行ハレ為メニ良民ニ不測ノ災禍ヲ蒙ラシメタルノ例少ナカラズ依テ各位ハ深く此点ニ留意シ予メ部内人民ヲ戒飾スル等犯罪ヲ未発ニ防止スルノ方法ヲ講セラルベシ又從來他地方ニ於テハ専心職務ニ従事スベキ市町村吏員ニシテ或ハ其公務ヲ放棄シ其地位ヲ利用シ奔走運動以テ選挙ノ自由公正ヲ妨害スルノ行為ノ為セルモノアルヤニ聞ク苟モ之レ等職務ヲ曠廢シ若ハ職權ヲ濫用スルモノ、如キハ断シテ之

レヲ寛假スベキニアラザルニ依リ各位ハ宜シク其意ヲイシ部下ノ監督ヲ厳密ニシ以テ之ガ防遏ノ方法ヲ尽サルベシ斯克ノ如ニシテ出来得ル限り選挙場裡ヲ清浄ナラシメ依テ以テ国民ヲシテ選挙ノ自由ヲ充分ニ保持セシムルニ努メラレンコトヲ望ム

地方財務及地方経営ニ関スル件

明治三十九年度以前ニ屬スル市町村税滞納整理ニ関シテハ客年五月本県訓令第三十二号ヲ發布セラレ爾來市町村ニ於テハ着々トシテ之ガ整理ニ力メ予定ノ期間内ニ終了ヲ告ケタルハ蓋シ各位ノ督励其宜キヲ得又部下吏員ノ銳意之ニ従事シタルノ結果ニ外ナラズ今ヤ滞納整理ノ完了ト共ニ或ハ之ヲ以テ負債ノ償還ヲ講ジ又ハ基本財産ノ増殖ニ充テ以テ民力ノ余裕ヲ図リ民心ヲ一新シテ広く勤勞進取ノ氣風ヲ獎メ共同一致ノ精神ヲ作興シ相率ヒテ公共ノ事ニ尽力セシムルハ蓋シ市町村ノ發達ヲ期スル上ニ於テ極メテ緊要ノ事ナリト云ハサルヘカラズ近來他府県ニ於テハ矯風獎差ニ関スル各種ノ団体其他地方経営ニ関スル各種ノ講習會協議會等熾シニ相興リテ自治ノ経営ニ貢獻スルコト甚ダ大ナルヲ見ル故ニ各位ハ深ク時運ノ進轉ニ鑑ミ財務ノ整理事業ノ施設ニ就テハ懇切指導シ其完整ヲ期セラレンコトヲ要ス

猶明治四十年年度ノ市町村税ニ就テハ県下一般此ノ機ヲ逸スルコトナク直チニ之ガ滞納整理ニ着手シ來ル六月三十日ヲ期シ之ガ完了ヲ計ルト共ニ今後ハ必ズ其徵收期毎ニ整理ヲ了シ以テ一般滞納ノ弊風ヲ一掃スルノ訓示ヲ受ケタリコレ納税ノ義務ノ重ズベキコトヲ覚知セシメ益々地方自治ノ發展ヲ期セントスルニアリ各位宜シク努力セラレンコトヲ望ム

地方税賦課制限ニ関スル件

今ヤ戦後国力ノ膨脹ニ伴ヒ地方各般ノ施設亦大ニ發展ヲ要スルノ機運ニ向ヘリ乃チ今回法律第三十七号ヲ以テ非常特別税法ニ於ケル地方課税ノ制限ニ多少ノ改正ヲ加ヘラレ以テ此ノ必要ニ応ゼシメントセシ所以ナリ然レ共近時國費ノ増加ハ一般國民ノ負担ニ及ボス処決シテ輕少ナリトセズ故ニ此改正ニ際シ濫リニ不急ノ事業ヲ企図シ以テ民力ノ涵養ト負担ノ輕重トヲ顧ミル事ナクンバ寔ニ国家財政ノ基礎ヲ危フスル所以ニシテ亦實ニ制度改正ノ本旨トスル処ニアラス故ニ各位ハ此点ニ関シ深く其趣旨ノ存スル処ヲ稽ヘ一層留意セラレンコトヲ望ム

協議費及水利組合ニ関スル件

凡ソ市町村ニ於ケル土木、教育、勸業、衛生諸費ノ如キハ之ヲ財政ノ上ヨリスルモ亦事業其ノモノ、性質ヨリスルモ当然公費ヲ以テ之ヲ支弁スヘク斯ノ如クニシテ初メテ事業ノ統一ト収支ノ正確トヲ期スルコトヲ得ベシ然ルニ従来地方ニヨリテハ協議費ナル名義ノ下ニ是等ノ事業ヲ経営セルモノ其事例ニ乏シカラスト斯ノ如キハ地方財政ノ紊乱ヲ醸スノミナラズ事業ノ施行上亦種々ノ情弊ヲ伴フコト少シトセス故ニ此ノ如キ当然公費ヲ以テ支出スベキモノハ此際速カニ其旧慣ヲ改メ之ヲ公共団体ノ経営ニ移サシメラレシコトヲ望ム殊ニ水利組合ニ関シテハ今回水利組合法発布セラレ選挙人ノ資格、委員ノ設置、組合費ノ賦課其他重要ナル事項ニ関シ従来ノ水利組合条例ニ比シ改正ヲ加ヘラレタル処尠ナカラス是レ組合ノ基礎ヲ鞏固ニスルト共ニ事業ノ振興ヲ図リ以テ地方公共団体ノ実ヲ全フセントスル所以ニ外ナラズ故ニ従来協議費ヲ以テ是等ノ事業ヲ経営セルモノノニツキ特別ノ事業ニヨリ之ヲ市町村ノ事業ニ移スコト能ハサルモノハ新タニ水利組合ヲ設置シ以テ事業ノ進捗ト確定トヲ期セシメラレシコトヲ要ス猶水利組合法ノ発布ニ伴ヒ組合規約ヲ以テ定ムヘキ事項少ナカラス是等ハ従来ノ水利組合同規約ニ改正ヲ加ヘ不日発布セラルヘキニツキ各位ハ其意ヲ了シ相当地導セラレシコトヲ望ム

感化法ニ関スル件

不良少年ヲ感化教養シ以テ自立自營ノ途ヲ得セシムルハ社会ノ害毒ヲ未前ニ防遏スル所以ニシテ其効果ノ著大ナル今更ラ茲ニ喋々ヲ須キザル処ナリ感化法ニ依リ設置シタル本県薫育院ハ従来院生二十五名ヲ收容スルニ過ギザリシモ本年度ヨリ其規模ヲ拡張シ五十名ヲ收容スルコト、シ今ヤ既ニ其家屋、建築其他一切ノ設備ヲ了シタリ而シテ改正刑法ハ近キ将来ニ施行セラレ十四歳未満ノモノハ其罪ヲ問ハザル事トナリ又感化法ハ頃日改正ノ結果十八歳未満ニシテ地方長官ニ於テ其必要アリト認ムルモノ及親権者又ハ後見人ヨリ入院ヲ出願スルモノハ是ヲ收容スルコトヲ得ルコトトナリタルヲ以テ各位ハ此際不良行為ヲナシ又ハ之ヲ為スノ虞アル少年ヲ精査シ速ニ入院セシムルノ手續ヲ執行セラレシコトヲ望ム

教育ニ関スル件

義務教育年限延長ノコトハ今ヤ施行ノ期ニ入り県下各市町村尽ク之ヲ実施スルヲ得タルハ教育ノ為メ大ニ慶賀スル所ナリ抑モ義務教育年限ノ延長ハ之レニ伴フ諸般ノ設備及教育俸給ノ費用ハ勿論其他個人及市町村直接間接ノ負担甚タ少カラサルニ不拘以上ノ好成绩ヲ呈シタルハ市町村当事者ノ教育ニ熱心ナルニ因ラスンハアララス然モ其

ノ根源ニ遡レハ人民一般嚮学心ノ旺盛ナルヨリ此ノ結果ヲ来シタルハ亦疑ヲ容レサルナリ而シテ其効果ヲ堅実ナラシメンニハ多ク良教員ヲ得テ忠実ニ其職務ニ従事セシムルヲ要ス然ルニ本科正教員ノ欠員今猶多数ニシテ之レヲ充実スルヲ得サルノミナラズ改正令実施ノ為益々其不足ヲ来サントス此ノ如クニテハ小学校ノ修業年限延長セラル、モ教育ノ進歩ハ之レニ伴ハス父兄及市町村ノ負担増加スルモ之レニ報ユルノ効果ヲ得サルカ如キ事アラフコト恐ル今ヤ内外ノ情勢急激ナル發展ヲ来シ緊急ノ費途多端ニシテ国民教育上必要ナル經費モ充分ニ之レヲ供給スル能ハサルノ事情アルカ故ニ小学校ニ於テ必ス各等級ニ本科正教員ヲ置クコトハ俄ニ之レヲ期スルヲ得スト雖市町村ノ資力猶本科正教員ヲ増置シ得ヘキ限リハ之レヲ供給スルノ計ヲ為サ、ルヘカラズ本県男女兩師範学校ノ生徒定員ヲ本年度ヨリ増加シ其規模ヲ拡張セラレタリ而シテ此増加カ本科正教員供給上ニ効果ヲ及ホスハ數年ノ后ヲ待タサ、ルヘカラス故ニ尚同校ニ於ケル教員講習科生徒ノ定員ヲモ増加シ尋常小学校本科正教員ノ学力補習ヲ終ルヲ待テ教員速成ノ講習ヲ開始セラル、計画アリ

小学教員補充ノコトハ独其養成ニ力ヲ致スノミニテハ十分ノ効果ヲ覩ルヘカラス最近ノ統計ニ徴スルニ県下小学校本科正教員ノ一ヶ年間ニ於ケル退職者百六十有余人ニ及ヘリ蓋シ其原因一ニシテ足ラサ

ルヘシト雖モ近年物価騰貴ノ趨勢カ教員ノ生活ヲシテ益々困難ナラシメ安シテ永ク其職ニ従事スルヲ得ザルニ至ラシメタルコト多キモノ、如キハ畢竟小学校教員ノ俸給甚々菲薄ニシテ其職務ノ重要ナルニ相応セザルニ由ル政府ハ客年市町村立小学校教員俸給ニ関スル規定ヲ改正シ市町村ノ義務額ヲ高メ以テ教員待遇ノ改良ヲ図ラレタリ故ニ各位ニ於テハ此ノ改正令ノ趣旨ニ從ヒ小学校教員ノ俸給ヲ高ムルコトニ関シ調査施行セラル、所アルヘシ惟フニ國勢ノ發展ニ伴ヒ各地施設経営スヘキ事業夥多ニシテ人民ノ負担輕カラサルカ故ニ教員俸給ノ増加ヲ行フコト決シテ容易ナラサルヘキヲ知ルト雖今ノ時ニ当リ国民教員進歩ノ為メ其教員ノ待遇ヲ厚クシ永ク其職ニアラシメ其充實ヲ図ルコトハ最モ緊要ナルヲ認ムルカ故ニ本件ニ関シ特ニ各位ノ切実ナル注意ヲ望マサルヲ得サルナリ

尋常小学校ノ修業年限延長ニ伴ヒ従来存在セル高等小学校ヲ廃止スルモノナキヲ期シ難シ尤モ廃止ト称スルモノ、中独立ノ高等小学校ヲ廢シ尋常小学校ニ之ヲ併置シ實際ハ廢止セサルト等シキモノハ格別若シ將來經濟上ノ關係等ヨリ已ムヲ得ス全ク已設ノ高等小学校ヲ廢止スルモノアルニ於テハ教育上ノ得策ニアラス高等小学ノ必要ハ義務教育年限延長ノ為メニ毫モ減スルモノニアラサルノミナラズ先進國ノ趨勢ハ益々其期限ヲ延長シ義務教育ノ分量ヲ増加シ国民教育

ノ程度ヲ進メテ列国間平和ノ競争上ニ勝利ヲ占メントスルハ看過スベカラサル状態ナリ而シテ我国ノ義務教育年限モ将来更ニ延長セラル、ノ時機アルヘキヲ以テ一時經濟上多少ノ困難ヲ忍ヒテモ從來存在セルモノ可成之レヲ存続セシムルヲ可トス從來ノ經驗ニ徴スルニ高等小学ノ二年ヨリ其身分境遇ヲ顧ミス蓋リニ中学ニ進マントスルモノ少ナカラズ為ニ中途ヨリ退学スルモノ其跡ヲ絶タサル所ナルカ此種ノ生徒ハ高等小学ノ三年マテ修学スルトキハ年齢十六、七ニ達シ学業ノ程度一層進ムヘキヲ以テ多クノ場合ニハ中学ニ進ムノ必要ナク家庭ニ適切ナル教育ヲ受クルコトヲ得ヘシ是レ将来三ケ年ノ高等小学ニ大ニ囑望シ其設立ヲ奨励スル所以ナリ

以上ノ如クニシテ二年高等小学卒業者ハ未ダ以テ完全ナル教育ヲ満たシタルモノト云フヲ得スト雖モ今日ノ状況今俄カニ三年高等小学ヲ經營スルノ容易ナラサルヲ認メ郡立実業補習学校ヲ配置シ以テ國民教育修了者以上ノモノヲ收容シ更ニ家庭ニ密接シタル実業教育ヲ施シ併テ普通教育ノ補習ヲ為シツ、アリ故ニ義務教育ノ修了者ニシテ高等小学ニ入ラサルモノ又ハ二年高等小学卒業者ハ力メテ入学ヲ奨励セラレ其習慣ヲ養成シ他日ノ基礎タラシメンコトヲ望ム

兵事ニ関スル件

一 兵役義務ニ就テ

其筋ノ調査ニ依レバ一般ニ兵役義務ヲ尊重スルノ念慮不十分ニシテ徵兵忌避ノ者漸次増加ノ兆候アリ或ハ法律上ノ罪人ト為ラサルモ其内心徵兵忌避ノ念ヲ有シ巧ニ法網ヲ脱セントスルモノアリ特ニ教育アル学生中ニ於テ多ク此等ノ者ヲ見ルハ実ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ深ク各位ノ注意ヲ望ム

一 在郷軍人ノ願届ニ就テ

在郷軍人ノ服役ニ関スル願届ハ勉メテ簡略ニ取扱フノ手段ヲ執ルヘキ旨既ニ主務省ニ於テハ関係陸軍官衙へ訓示セラレタル趣ニ付市町村長ニ於テモ此ノ旨ニ從ヒ該願届中仮令多少不備ノ点アルモ差支ナキ限りハ之ヲ受理シ其違式ニシテ是非改正ヲ要スルモノハ丁寧ニ之ヲ教示スルヲ要ス〔子メ願届用紙ヲ準備シ置ヲ便トス〕是レ願届其他ノ規定ヲ知ラサルカ為意外ノ不利ヲ招クノ場合アルヘキヲ以テ在郷軍人ヲシテ大要此等ニ通曉セシムル方法ヲ講スルコト極メテ必要ナリ

一 召集諸費繰替支弁ニ就テ

今般召集諸費ノ繰替支弁ニ係ル法律及之ニ関スル勅令公布セラル市町村ニ於ケル召集事務簡易トナリタリ本法令ハ一般応召者ヲシテ施

費受領ノ為メ徒ニ時日ヲ遷延セシムル如キ從來ノ弊ヲ除キ貧困ナル
 応召者ニハ最簡易ニ旅費前渡ヲ受ケシムル精神ナルヲ以テ善ク此ノ
 旨ヲ体シ勉メテ応召者ノ便ヲ計リ応召ノ時機ヲ失セサラシムル様取
 扱ハレンコトヲ望ム

大博覧会ニ関スル件

日本大博覧会ハ国光ノ発揚ト産業ノ進歩トニ付キ一新紀元ヲ劃スル
 ノ効果ヲ収メン事ヲ期スルモノナルカ故ニ其出品ハ我人文及ヒ産業
 ノ発達ヲ現示スルニ足ル優秀ナルモノニシテ且内外多額ノ需要ニ応
 シ得ヘキモノヲ選ブヲ要ス夫ノ博覧会ヲ目的トシテ特ニ精製工夫シ
 タルモノヲ出陳スルカ如キハ深ク戒メサル可カラズ要ハ個人的若ク
 ハ地方的の觀念ヲ去リ一致協力其事ニ當リ以テ充分ノ偉功ヲ奏スル様
 深く留意セラレンコトヲ望ム

伝染病ニ関スル件

昨年春夏ノ交横浜市及其付近町村ニベスト続発シ漸ク其終熄ヲ告ク
 ルヤ更ニ虎列刺病ノ襲撃アリ次テ天然痘ノ流行ヲ見其間亦各種伝染
 病断ヘス発生シテ防疫上最モ繁雜ヲ極メタルニ拘ハラス防制其宜キ
 ヲ得甚シキ慘状ヲ呈スルニ至ラサリシハ実ニ当該吏員銳意尽力ノ結

果ニ外ナラス殊ニ赤痢病ノ如キ八十數年来年々平均千人以上ノ患者
 ヲ発生シ県内ノ一大災厄タリシカ一昨年ハ五百人ニ降り昨年ハ更ニ
 減シテ二百五十人ニ止マリシハ著シキ好成绩ナリト云ハサルヘカラ
 ス然レトモ猶今後ノ発生予知スヘカラサルノミナラズベストノ如キ
 ハ時々船舶ニヨリ病毒ヲ輸入セラレ本年已ニ有菌鼠二十八頭ヲ出シ
 虎列刺病モ亦横浜市及小田原町ニ其発生ヲ見且昨年ノ余毒所在潜伏
 ノ虞レハ天然痘ハ今猶ホ時々発生スルニヨリ秋冬ノ候ニ及テ或ハ再
 ヒ猖獗ヲ逞フスル虞ナシトセス依テ各位ハ一層奮勵シテ或ハ清潔法
 ヲ周到持統シ或ハ種痘ヲ勵行シ其他或ハ隨所ニ講話ヲ開ク等益々防
 疫ノ実ヲ挙ケラレンコトヲ望ム

恩給及遺族扶助料ニ関スル件

恩給証書ノ交付並ニ軍人遺族扶助料ノ請求ニツキ從來往々遷延ニ流
 レタメニ困難ヲ感スルモノ尠ナカラサルハ実ニ同情ニ堪ヘサル処ナ
 リ然ルニ其遷延ノ原因ハ最初調査ノ不確實ニシテ文書不備ノ点多ク
 タメニ往復數回ニ涉ルヲ多シトス本件ニ関シテハ其筋ハ勿論本庁ニ
 於テモ勉メテ処理ノ快速ヲ希望スルヲ以テ各位モ亦各關係者ヲ督勵
 シ周到懇切ニ注意ヲ加ヘ迅速ニ処理セシメラレンコトヲ望ム

実業補習学校ニ関スル件

郡立第二、第三、第四実業補習学校ハ所在地ノ状況稍々趣ヲ異ニスルヲ以テ来ル明治四十二年度ヨリ之ヲ町村又ハ組合立ニ移シ町村ノ経営トシ郡ハ当分之レニ補助金ヲ付与シ其経営ヲ助力セントシ而シテ其第一実業補習ハ別ニ画スルトコロアラントス抑モ補習学校ハ所在地方又ハ其付近ノ実業ト最モ密接ノ関係ヲ有スル学芸ヲ授ケ併セテ普通教育ノ補習ヲナシ国民教育ヲ全カラシムルニアルヲ以テ之ガ普及発達ヲ図ランニハ其地方任意適切ノ施設ヲ要スルコト極メテ必要ナリトス今ヤ我国戦後経営ノ時ニ際シ実業ノ発展ヲ待ツコト倍々急シテ時勢ハ須臾モ之ヲ忽セニスルヲ許サズト雖民智ハ之レ相伴ハザルモノアルノミナラズ尚之ヲ等閑視スルノ感アルハ誠ニ慨嘆ニ堪ヘサルナリ諸君ハ町村ノ統治者タリ宜ク世ノ大勢ニ鑑ミ啓蒙ノ任ニ当リ其学校所在地ノ町村ト否トヲ論ゼズ子弟ノ就学ヲ勧誘シテ其利益ヲ享有セシメラレン事ヲ望ム

町村税滞納ニ関スル件

町村税滞納整理ニ付テハ従来屢々訓示或ハ通牒スル処アリ又各位モ職責上既ニ其必要ヲ感シ日夜事ニ当リ去ル四十年迄ノ滞納ハ遂ニ整理完結ヲ告クルニ至レリ是レ畢竟各位方部下ヲ牽ヒテ鋭意村治ノ

改善ニ従事セラレタル結果ニ外ナラズ尚引続キ四十一年度ニ於ケル滞納ニ付テハ絶ヘズ之ガ改善整理ニ努力セラレツ、アルコトハ確認シテ疑ザル処ナリト雖モ抑モ町村税ノ滞納ニシテ其ノ弊ヲ矯正スル不能又之ガ整理ヲ遂クルコトヲ得サランカ町村ノ財政ハ之ガ為メニ紊乱シ諸般ノ施設ハ之ガ為メニ障害セラレ其ノ結果町村自治ノ發展ヲ阻害スル等既往ノ事例ニ徴シ明ナリ依テ此際各位ハ尚一層懇到厳密ニ部下吏員ヲ指導督励セラレ滞納ノ弊習ヲ他動的ニ俟タズ此ノ際進デ之ガ矯正ノ策ヲ講究シ完全ノ整理ヲ遂行セラレ町村財務ノ面目ヲ一新シ各町村一斉ニ整理ノ実ヲ挙げラレ職責上運算ナキヲ期セラレンコトヲ望ム

(「町村長会共議案綴」(明治二八―四一年) 清川村役場蔵)

(注) (一)は明治四十年、(二)は同四十一年のものである。

